

R4年度 各部会活動報告

no.	部会名	今年度の目標	4～11月の振り返り	課題	12～3月の目標
1	就労支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブチャレ香川・しごとサロンたかまつ、雇用セミナーの開催 ・高校・専門学校・大学の進路担当等との連携強化 ・就労系アセスメントの検討 ・就職相談しようパンフレットの見直し 	4/27全体会 4/27 5/16 7/20 9/16 11/09 広報調査委員会・イベント委員会 5/16 7/20 9/16 11/09 A 型委員会 6/13 10/21 12/07 就労移行支援等委員会 11月7日「障害のある人のITでの働きかたの可能性を考える」セミナー (11/30までオンデマンド)	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブチャレ香川・・当初予定していたが、コロナの拡大により中止。参加希望していただいていた方については個別に対応。 ・コロナ禍のため、学校訪問が十分にできなかった。 	2023/1/18 しごとサロンたかまつ 2023/2/15 雇用セミナー 就職相談しようパンフレットの改訂
2	精神保健福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ①精神障害者支援関係者で医療と福祉のワークショップをリモートを活用して実施 ②精神科病院からの高齢者の退院支援のポイントに則った支援の振り返りを行う。包括支援センター職員との合同研修を実施する。 ③ピアサポーターの活動促進、高松圏域独自の交流、研鑽の場を創設し運営する。 ④精神科病院の地域移行に向けた取り組みをサポートする。 ⑤コア会議を年間3回開催し、部会の進捗を管理する。 ⑥精神医療保健福祉の支援者対象の事例検討会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度交流企画をリモートで実施。参加者17名。 ②包括支援センター職員との合同研修を11月に実施。 ③ピアサポート活動推進のためのパンフレット作成について検討。 ④地域移行支援サービスに限らず、病院内の退院支援の取り組みについて部会内で共有。 ⑤5月と9月にコア会議を実施。進捗と今後の方向性について確認。 ⑥未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ④部会内での情報共有はできているが、感染予防の対策を講じる必要もあり、部会活動として課題へのアプローチが難しい。 ⑥事例提供の声かけやニーズの把握などが十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度交流企画2回目を対面で開催を予定。 ②ポイントに沿った支援の振り返りを継続しながら、合同研修の振り返りと次年度以降の研修の検討。 ③パンフレットの完成を目指し、周知方法についても検討していく。 ⑤2月にもコア会議を予定。
3	相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域課題を抽出し、その解決に向けて取り組む。 ○災害時、緊急時対応の計画作成に関する研修を行い、地域を巻き込んだチーム支援のスキルを学ぶ。 ○圏域内の相談支援専門員のネットワークを構築し、協働するしぐみを浸透させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○部会自体はZOOM（ハイブリッドもあり）を主として、毎月実施した。必要な情報や制度についての共有をしたり、学ぶ機会を持った。 ○研修を実施し、実際のケースを担当する上で必要なスキルについて学ぶ機会を持ち、好評であった。 ○各エリアでの定期的なミーティングが実施できていて、その中での活動も活発化しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての事業所が出席できていないことで、お互いの計画の状況等がどうなっているのかが把握できない。 ○部会員の悩みや困りごとがあまり把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所からの意見をうまく吸い上げられるような工夫をして、来年度の部会運営に活かす。 ○今年度の残りの研修を実施後振り返りを行い、最終的に来年度の研修の計画を立てる。 ○エリアでの重層的な相談支援体制について考える機会を持ち、課題を探る。
4	身体障害者支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応に関して当事者から支援者へ向けた講演会の企画 ・起震車の体験 ・ピアサポーター活動 ・ピアサポーターの登録、派遣の仕組み、研修等について事務局とともに検討する。 ・地域移行 ・県協議会の動向を把握して取り組みを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者ネットワークへの定期的な訪問 ・当事者と災害の手引き読み合わせ ・身体障害者のピアサポーター登録（10名弱） 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を企画したいが感染症対策もあり困難な部分あり。 ・身体障害者ピアサポーターの活動の場をどのようにしていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の企画、可能であれば実行 ・ピアサポーター活動の方向性を決める

no.	部会名	今年度の目標	4～11月の振り返り	課題	12～3月の目標
5	知的障害者支援部会	<p>○親なきあとWG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急に短期入所を利用する時の準備物リストをHPに掲載する ・香川県社会福祉協議会との成年後見制度に関する情報交換 <p>○地域移行WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GHサービス管理責任者との意見交換 ・課題の検討（養護学校高等部卒業後の生活の場について） 	<p>○部会開催</p> <p>6/30、8/2、10/21 計3回</p> <p>○親なきあとWG</p> <p>7/28 中止</p> <p>9/27 情報整理ツールと緊急時持ち出しリストについて、その構成について意見集約。</p> <p>○地域移行WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/27 8月サビ管との意見交換会の打合せ ・9/16 意見交換会の振り返り、卒業生の生活について確認 	<p>○親なきあとWG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応に役立つツールとして作成した。あくまで1つの選択肢として手を付けやすいところから始めていただける周知が必要。 <p>○地域移行WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GH入居に関して、本人の希望が確認されないまま入居している実態がある ・高等部卒業と同時に児童入所施設退所になる生徒の次の住ま 	<p>○部会開催予定</p> <p>2/15 今年度の振り返り、来年度の目標を立てる。</p> <p>○親なきあとWG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報整理ツールと緊急時持ち出しリストについて、協議会HPへのUPを行う。 ・成年後見人、日常生活自立支援事業に関するWG内勉強会の実施。 <p>○地域移行WG</p> <p>1/18 課題について検討を進め</p>
6	発達障害部会	<p>1) これまでに作成した『高校生活ガイドブック』を、高校の生徒指導等の現場で実際に活用してもらえるように、具体的に働きかける。</p> <p>2) 高松市社協の『まるごと相談員』との情報共有や連携を目指して、情報交換会や研修会等を定期的実施するための準備を行う。</p>	<p>1) ガイドブックのPRチラシを作成して、県教委主催のSSW等の連絡会で配布＆アナウンスした。また同チラシを県内すべての高校に郵送した。</p> <p>2) 相談員と高松市の担当者に依頼して、基幹相談支援センター会議室で、1回目の情報交換の機会を持った。</p>	<p>1) ガイドブックを生徒相手に使用した実績はまだなく、その使用感など現場からのフィードバックをもらったことがない。</p> <p>2) 発達障害成人の困り感について地域の支援者等（民生委員など）から聴取する方法やルートの確立が非常に難しい。</p>	<p>1) PRチラシを見てくれた高校の先生たちの反応を聞き取る取り組みを検討し、実施する。</p> <p>2) 相談員と2回目の情報交換会を実施して、定期的な会合の在り方について話し合う機会をもつ。</p>
7	子ども部会	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援・放課後等デイサービス（事業所と略す）の情報をHPに掲載する ・事業所に対しての研修会、連絡会、周知会等を実施する ・医療ケア部会、発達障害部会と課題を共有し、一緒に取り組める事があれば実施していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、新規事業所の情報をHP上に掲載中 ・9/7に事業所対象に虐待防止研修を実施（協議会開催） ・4月に医療ケア・発達障害部会の部会長との話し合いを行い、課題を共有し合う。 ・11月に直島町の療育体制について、町と話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面による部会開催が出来ておらず、一部のコアメンバーからの意見をメールで集約している。 ・福祉サービスのニーズ調査アンケートの結果の報告が出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所連絡会の開催を検討する※ハイブリット方式 ・直島町の療育体制について考える(1～3月) ・部会開催を検討※ハイブリット方式
8	医療的ケア部会	<p>医療的ケア児等コーディネーターの質の向上・医療的ケア児等コーディネーターの活用・保健師との連携・医ケア児支援センターとの連携</p>	<p>zoomで部会開催・今年度も課題を検討し合った</p>	<p>医ケア児の相談件数が少なく、相談支援専門員の質の向上がなかなか難しい。</p>	<p>今年度は医療的ケア児等コーディネーターを取得している相談支援専門員の質の向上。</p>
9	居宅サービス事業所連絡会	<p>昨年度までの連絡会をより活性化させるため、およびヘルパーに関する地域課題（人員不足、重度訪問介護や移動支援の事業所不足等）に取り組むために、コアになる事業所を再編して、どのような連絡会が事業所のニーズに合っているか、地域課題の解決に向けて取り組んでいるか、などについて協議すること。協議の結果、準備ができた次第連絡会を開催すること。</p>	<p>5/23zoomにて協議。・年間の開催日を決めて開催する（例：6、9、12、3月の第3水曜日午前など）・行政も参加してもらおう・エリアを意識した集まりも検討・相談支援への発信を考える・参加することで得られるメリットを準備するなどが話し合われた。</p> <p>9/7zoomにて協議。12/21に第1回連絡会を開催することとなった。内容は、コロナ対応に関する情報交換（ガウンテクニック実技指導も）、困りごとに関する情報交換。</p>	<p>参加する事業所にとっては連絡会が「参加することで（速やかに）得られるメリットがある」ことが必要である。一方で、同じ地域で同じ事業をおこなう事業所同士として「（時間がかかっても）地域課題への取り組み」も必要である。今後、この2点を念頭に開催を考えていく必要がある。</p>	<p>12/21に第1回連絡会を開催する。内容は、コロナ対応に関する情報交換（ガウンテクニック実技指導も）、困りごとに関する情報交換を実施予定。開催後は振り返りを行い、来年度の活動について協議する。</p>

no.	部会名	今年度の目標	4～11月の振り返り	課題	12～3月の目標
10	当事者家族会連 絡会	障がいのある方及びその家族が抱える諸課題や問題について意見や情報を提供してもらい、少しでも安心安全な生活ができるようにする事。	R4年10月13日に、対面とZOOMで、連絡会を実施。議題①連絡会の活動報告②防災に対する意見交換会。	児童の家族会からの意見で、周囲に迷惑をかけるから福祉避難所に避難出来ない方はどうしたら良いかと意見がでて、議論するが、意見を言った人が納得出来る回答は提示できなかった。	12月14日に実行委員会を開催。その時に、残り4カ月の活動予定や目標を設定する。
11	事務局	■事務局■ 運営会議全体で取り組む課題、部会同士が連携して協議していく課題に取り組む ・災害時に関する取り組み ・ヘルパーに関する取り組み（居宅サービス事業所連絡会にて報告） ・障がい児支援に関する取り組み（こども部会にて報告） ・就労支援に関する取り組み（3月予定） ・ピアサポーター推進の取り組み（1月予定）	・運営会議（毎月第2金曜日開催）4,5月はZOOMにて、6,8,9,11月は対面開催。7,10月は休み ・災害時…避難行動要支援者名簿と保健センターの名簿登録について整理。また、避難に関する支援をモデルケースを選定して取り組むことを決定した。モデル選定エリア、モデル対象者像、検証の体制を協議した。 ・小規模事業所対象の障がい者虐待防止研修開催（高松市基幹相談支援センターと協議会こども部会との共催）。 ・今年度より協議会としてのZOOM活用環境を整え、各部会活動にて利用。 ・その他、主任相談支援専門員研修、日中活動支援型GH評価、副会長の選定などを協議した。	・災害時に関する取り組みでは、モデルケースの選出～各ケースの協議と進む予定である。各ケースの進捗状況の管理やそこから挙がる課題を集約する体制を検討し、効率の良い協議を目指す。 ・各部会をはじめとする協議会の活動が、スムーズに引き継がれていく必要がある。 ・全体会が開催できていない。	・災害時に関する取り組みでは、各ケースの進捗状況の管理やそこから挙がる課題を集約する体制を検討する。また、各ケースの進め方について、昨年度までの災害時WGの取り組みを参考に協議する。 ・来年度の各部会等のリーダーやコアメンバー等について、近い将来を考えながら協議する。 ・12月中に全体会を開催する（メールでの意見交換による）。 ・日中支援型GHの協議会による評価について1件の実施予定。
		■B型事業所連絡会■ B型事業所間の交流を提出することで、顔の見える関係作り、お互いを高め合う環境を整える。	6月に事務局会を開催し、今年度の取組みとして ①11月に事業所の見学会の実施する。 ②令和5年1月に意見交換の場として座談会を開催する方向になる。	事務局会のメンバーで課題や方向性は共有出来ているがそれ以外の事業所と共有が出来ていない。参加のメリットを感じてくれている事業所が少ない。合わせて事業所の運営上も参加しづらい事業所が多い為、開催方法等に工夫が必要である。	12月に見学会の振り返りと1月の座談会開催に向けてを話合う予定。1月の座談会には出来るだけ多くの事業所に参加いただきたい。
		■意思決定支援研修検討会 障害福祉サービス利用者の意思決定支援における基本的な知識を獲得すると共に、相談支援専門員とサービス管理責任者等が演習を通じて意見交換や自身の支援の振り返りができる機会を持つことを目標とする。	5月30日(月)に「支援現場における意思決定支援について～意思決定支援の基礎知識と実践事例～」と題して意思決定支援研修会を開催した。参加者は、サビ管、相談支援専門員等34名であった。また、アンケート結果によると、定期的に開催してほしいとの意見が複数あった。	年に1回本研修を開催する予定にしていたため、当日都合がつかず研修に参加できなかった方が、今年度中に研修を受講する機会がない。	5月30日(月)に研修を受講できなかった方を対象に令和5年3月9日(木)に同内容の研修を開催する予定。
■訪問サービス見守りWG■ 相談支援部会の相談支援専門員と合同でグループホーム退所後、地域生活を継続させるために必要な支援のあり方について事例を通して学ぶ機会を持つ。	11月17日(木)に相談支援部会と本WG合同で「高松圏域における自立生活援助～グループホームから出て、生活する方の支援から～」と題した研修会を開催した。グループホームから退所する際に自立生活援助を活用しながら支援する方法の有効性について一定の理解を得ることができた。	グループホームから出て、地域で自分らしく安心して生活するにあたり障壁となっている課題にどのようなものがあるのか圏域の支援者間で整理、共有できていない。	グループホームのサビ管対象にグループホームを出て、地域で生活したいと願う本人の支援を行う際に、見えてくる課題にどのようなものがあるのかを探るアンケート用紙を作成する。		

支援を求めている方向け(案)

その他の情報

- ▷ ピアサポーターに関してもっと勉強したい方へのお役立つ情報！
高松圏域自立支援協議会HPより(QRコード)



▷ ピアが自主運営

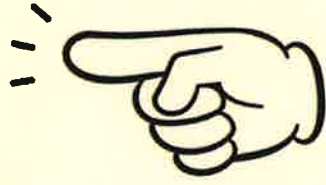
- ▷ **精神障がい分野のピアサポーター・当事者の居場所「はばたき」**
毎月第2月曜日15時～16時(4月、祝祭日は休み)
香川県高松合同庁舎4階で開催中！
☎ 087-804-5566 (香川県精神保健福祉センター)

お問い合わせ先

- 高松市・三木町・直島町にお住まいの方はこちら
▷ 高松市障がい者基幹相談支援センター(中核拠点)
〒760-0066 高松市福岡町2丁目24番10号
☎ 087-880-7012

その他の地域にお住まいの方はこちら

- ▷ 香川県障害福祉課 精神保健・人材育成グループ
〒760-8570 高松市番町4丁目1番10号
☎ 087-832-3294



『辛さ悩みを抱えているあなたへ』
～ピアサポーターの支援を知っていますか？～



ピアサポーターって何？

ピアサポーターの「ピア」は仲間・同じ立場という意味。
障がいのある当事者の方が自分の体験をもとに、
おなじ苦勞を抱える方と仲間の立場で支え合う活動をしています。

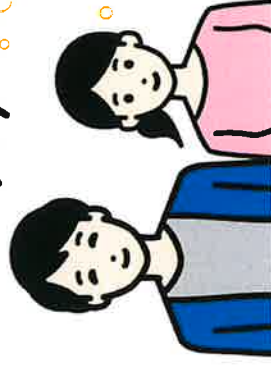


どんな効果や影響があるの？

- 日常生活や退院への不安を軽減することに役立つ
- 当事者の目線に立った支援が行われる
- 目標や希望が持てるようになる
等の効果が期待されます。

安心してありのままを話せる。

本当に分かってくれている。



具体的なには どんな支援 があるの？

1 個別の相談

個別相談や外出同行を行う。



障がいのある方のご希望の場所へお伺いし、お話を聴きします。定期的に支援を受ける方もいます。

2 体験談発表や座談会

本人・家族様、また地域住民や専門職の方への理解を促す活動。



在籍しているピアサポーターは、障がい種別も様々です。大学や図書館など幅広い場で活動を行っています。

支援の対象となる方

- お悩みを抱えた本人様 (病气や障がいの種類は問いません)
- 家族様、地域住民の方
- その他の病气や障がいのある方の支援に関わる方 など

利用料金

相談・支援は全て無料！
(外出同行などに伴い費用が発生する場合には、ご自身の費用が必要ですが)

利用された方の きっかけ・声



同じような体験をしたことのある方になら
ちよっとしたこと打ち明けやすそう！



“ 退院しての生活のイメージができた。勇気をもらった。
自分も働いてみたいと思った。 (入院中の方より) ”

“ 話ができよかった。
気持ちを分かってくれた。
なんか安心する。 (当事者様より) ”

“ 希望がみえた。こんな風に回復できるんだ。
元気が出てきた。 (ご家族様より) ”

ピアサポーター 支援を依頼したい場合は？



普段、主で支援(担当)している方から
お住まいの地区担当へお問い合わせ(裏面参照)



依頼内容と在籍ピアサポーターのマッチング



支援開始！

※本チャートはあくまで流れです。詳細は裏面窓口までお問い合わせください。

ピアサポーターになりたい方向け
(案)

その他の情報

▷ ピアサポーターに関してもっと勉強したい方へのお役立ち情報！
高松圏域自立支援協議会HPより(QRコード)

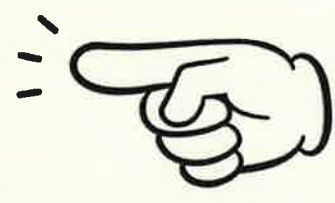


▷ ピアが自主運営
精神障がい分野のピアサポーター…当事者の居場所「はばたき」
毎月第2月曜日15時～16時(4月、祝祭日は休み)
香川県高松合同庁舎4階で開催中！
☎ 087-804-5566 (香川県精神保健福祉センター)

お問い合わせ先

高松市・三木町・直島町にお住まいの方はこちら
▷ 高松市障がい者基幹相談支援センター(中核拠点)
〒760-0066 高松市福岡町2丁目24番10号
☎ 087-880-7012

その他の地域にお住まいの方はこちら
▷ 香川県障害福祉課 精神保健・人材育成グループ
〒760-8570 高松市番町4丁目1番10号
☎ 087-832-3294



『あなたの経験が誰かのために』
～ピアサポーターとして活動してみませんか？～



ピアサポーターって何？

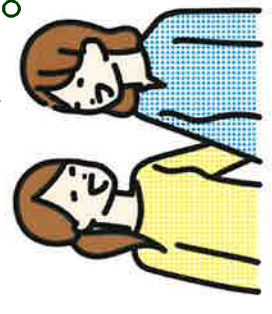
ピアサポーターの「ピア」は仲間・同じ立場という意味。
障がいのある当事者の方が自分の体験をもとに、
同じ苦労を抱える方と仲間の立場で支え合う活動をしています。



どんな効果や影響があるの？

- 当事者の不安を軽減することに、自分の経験が役立てられる
- 当事者の目線に立った支援を提供できる
- 回復のモデルになり、目標や希望を与えられる

等の効果が期待されます。



自分の病気の経験が役に立つ！
辛い経験がプラスに思える。

具体的なには どのような活動 があるの？

1 個別の相談

個別相談や外出同行を行う。



障がいのある方のご希望の場所へお伺いし、お話を聴き、定期的に支援を受ける方もいます。

2 体験談発表や座談会

本人・家族様、また地域住民や専門職の方への理解を促す活動。



在籍しているピアサポーターは、障がい種別も様々です。大学や図書館など幅広い場で活動を行っています。

3 研修会を企画・開催

ピアサポーターが受講する研修内容、普及活動などを一緒に考える。会では、役割(司会進行、発表等)を持ち参加。



2か月ごとにピアサポーター同士の交流会を行うなど定期的に話し合いの場を設けています。

4 関係者との連携

障がい者が暮らしやすい地域づくりのため、地域課題や対策などを話し合い、当事者の声を地域の施策や事業に盛り込む。顔の見える関係を作り、連携を深める。



関係者の集まる、自立支援協議会などに参加しています。

活動により得られた メリット

- 生活にハリが出る。
- 自分の体験を客観視でき、かつ活かされる。
- 社会参加できている実感がある。
- さまざまな情報が入り、勉強になる。
- 地域づくり等話し合いの場に参加でき、知り合いが増える。
- 自分自身の回復に大きく貢献できる。
- 目標や希望を持てるようになる。



※実際に活動しているピアサポーターの方からの声です！

自分自身と向き合う きっかけ



自分自身の経験を振り返る作業でもあり、気持ちが揺れ動くこともあるかもしれませんが、あなただけにしかできないことがあるからこそ、あなたにしかできない人がいます。

できそうなことからまず一歩始めてみませんか？

ピアサポーターになるためには



香川県ピアサポーター養成講座受講



ピアサポーター登録

※詳細は裏面窓口までお問合せください。

【 令和4年度第1回高松圏域自立支援協議会全体会 意見交換集約 】

- ・主に就労支援部会に出席しております。様々な委員会の中で意見交換をさせて頂いており大変充実しております。今後ともよろしくお願い致します。
- ・精神保健福祉部会にて作成予定のピアサポート活動推進のためのパンフレットの内容や周知先について分かる範囲で教えて頂きたいです。
⇒ピアパンフレットの内容については作成途中ですが別紙添付資料の通りとなります。また、周知方法については今後WGにて検討予定です。
- ・コロナ禍において各部会共に、工夫して部会を開催され、検討・協議されたことがよくわかりました。今後ともよろしく申し上げます。
- ・B型事業所連絡会について
B型事業所は事業所の運営上、事業所外で開催される会議や研修等に参加しづらく、他事業所との交流はあまりないのではと感じています。それゆえにこそ、お互いを高め合うためには他事業所との交流は必要だと思います。開催方法については、事業所の意見を聞かせてもらいながら、その意見をもとに小さな単位での開催でもよいのではと思います。
⇒立上げより事務局メンバーとして9つの事業所に参加して頂き、会の方向性等を協議しながら昨年は4つのエリアに分けて事業所の集まる場を設けました。今年度は事務局メンバーと参加して頂いた事業所の意見を集約した結果、事業所見学会と座談会を開催することになりました。ご意見いただいている通り、これからも参加の促しには工夫が必要だと感じております。
- ・発達障害部会について
ガイドブックの使用状況（使用した実績がない理由も含め）が知りたいです。ぜひ、12～3月の目標にあがっている、高校の先生たちの反応を聞き取る取り組みを実施していただけたらと思います。
発達障害部会が作成している「高校生活ガイドブック」は、大変面白い取り組みだと感じました。せっかく時間をかけて作成したガイドブックなので、ぜひ高校の学校現場で使用してほしいです。全体会資料の課題として、生徒相手に使用した実績がまだないと書かれてあったので、とても残念に思いました。内容を少し変更すれば、中学校バージョンとして使用することもできると思います。
また、課題の一つとして、発達障害成人の困り感について、地域の支援者等から聴取する方法やルートの確立が難しいとありましたが、これが確立されたらとても素晴らしいと思います。発達障害成人の方が、引きこもりになってしまったり、ご家族の方が支援の方法に困ったりしないためにも、こうしたルートを確立して、よりよい支援が届けられるようになってほしいです。

⇒使用状況については、作成して時間が経ちますが現場の先生にガイドブックの情報が届いていないことが今年度に入り分かりました。なので今年度は、改めてチラシを作成し高校に配布しました。

中学生バージョンについては、部会の中でも話が出ているので、今後検討していきたいと考えています。まずは高校生バージョンの活用実績を集約し更新をしていきたいと考えております。

地域の支援者との連携については、部会の引き続きの課題として各支援機関にも参加して頂き協議して参ります。

- ・就労支援部会の「ジョブチャレ香川」がコロナ拡大により中止となった件について
関りのある方が、参加を予定していました。残念ながら中止になったのですが、資料の送付や個別に電話をくれたと感謝の言葉をお聞きしています。当センターとしても有難かったし、丁寧な対応が参考になりました。
- ・当事者家族会連絡会の「福祉避難所に避難できない方はどうしたらいいか」について
知的障害者のプラン作成時にご家族から話を伺うと、「迷惑をかけて避難所にはいられないので、行きません」「どこにも行かず、この子と死にます」等、同じような言葉をお聞きします。避難所→福祉エリア→協力施設と認識していますが、まず避難所に行けないと言われ、なかなか返す言葉が見つかりません。現在、協議会で災害時に関する取り組みを協議しているので、そのことも意識しながら、考えていきたいと思っております。
- ・意思決定支援研修検討会、訪問系サービス見守りWGについて
知的障害者支援部会でも、取り組みのどれをとっても「意思決定支援」は常に考えていかなければならないことと認識しています。GH サービス管理責任者の方との意見交換等でも話題があがっています。生活上の様々な意思決定、自己選択もそうですが、そもそも本人が希望して入居している方は少ないということ。意思決定や意思決定支援について、支援者が十分に理解し取り組んでいかなければいけないと思っております。今後もそれぞれの部会での発信をよろしくお願ひします。
⇒今年度は、事務局主導で意思決定支援に関する研修を企画しました、検討会で今年度の取り組みを振り返り、運営会議委員の皆様のご意見もお聞きしたうえで、より効果的な研修体系を構築していきたいと考えております。
- ・各部会ともに、新たな課題やこれまでに協議されてきた活動に対して、様々な視点から取り組んでいただいております、大変頼もしく感じているところです。協議や活動を通して得られた内容が、行政も含めた関係機関で共有されることにより、課題などの解決に向かって進んでいけると思っております。
- ・特に質問はありませんが、令和3年度の香川県の障害者の就職率が全国46位（最下位から2番

目) となりそうとのことですので、就労部会には今後もより一層の期待が高まるのではないかと
思います。今後ともご指導等よろしく願いいたします。

⇒香川県が障害者雇用率でワースト 2 位になる可能性については、部会の中でもしっかり共有し
ます。そして、連携しすすめられることについて再確認し、具体的に取り組めることについては
実施していきます。ありがとうございました。

・全体会はもちろんのこと、各部会ともにコア会議や WG 等で課題解決に向けて熱心に御協議い
ただいており、感謝しております。引き続き、よろしく願いいたします。(高松市障がい福祉課)

・コロナ禍の中、協議会の開催や Zoom 会議等、事務局の皆様にはご準備並びにご指導等いつも
ありがとうございます。質問等は特にありません。(障害者就業・生活支援センター オリーブ)

・養護学校 1 年生の時は、行きのスクールバスは出るが帰りのバスが出ないため、家庭によつて
は通学するのが難しい状況になることがある。放課後等デイの送迎も利用可能だが、本人が利用
を希望しない場合や利用を希望しても日数に限りがあることに課題がある。何か良い手段がある
だろうか？

⇒地域の課題として、まずは養護学校、相談支援事業所、行政等から現状をうかがい、整理した
ものを時期をみてご報告させていただきたいと思います。